

東北 Touhoku

日本列島がバトンを回しているかのように、北側から順番に暖色系にそまる季節、秋。その美しさは、何度見ても人の心を感動させます。

青森 弘前市 岩木山

標高が 1625m もあり、円錐形の山容から津軽富士とも呼ばれている。青森県の最高峰で、山頂部は、岩木山・鳥海山・巖鬼山の 3 つの峰で形成されている。鱒ヶ沢、赤倉、百沢、嶽などの登山道があり、どの登山道も古くからお山参詣に使用された。また観光道路もあり、頂上付近まで通っている。



秋田 男鹿市 男鹿半島

三方を海に囲まれた半島で、なまはげのふるさととしても有名な地である。もともとは離島であったが、米代川、雄物川から運搬される土砂によって陸繋島となる。南側から時計回りに走れば、序盤はおだやかな風景が続くが、西へ進むにつれて一転し、奇岩怪石が連続する景観に変わる。



岩手 一関市 猊鼻溪 (げいびけい)

砂鉄川が石炭岩を浸食してできた。それは高さおよそ 100 メートルあり、奇岩怪岩が両岸にそびえる、長さは約 2 キロの渓谷だ。手こぎ舟の舟下りがあり、船頭さんの話す「猊鼻追分」を聞きながら、ゆったりとした時間を楽しむことができる。四季折々の景色が美しく、日本 100 選にも選ばれた。



山形 米沢市 上杉神社

米沢城址にあり、戦国の名将上杉謙信公を祀る。大正 8 年米沢大火で焼失したが、同 12 年米沢市出身の工学博士、伊東忠太の設計により再建。境内に上杉氏ゆかりの文化財を多数収蔵する稽照殿や、米沢市上杉博物館がある。例祭 4 月 29 日。米沢上杉まつり・上杉雪灯籠まつりの会場。桜の名所。



宮城 仙台市 青葉城

二百七十年間、伊達氏の居城となった。標高 132m の青葉山と呼ばれる小山の上に築かれ、大手は広瀬川、搦め手は溪谷が自然の堀となっている。現在は、明治の廃藩置県とともに取り払われて、石垣・礎石、城壁を残すだけとなっているが、青葉城資料展示館や青葉城下名店館などがある。



福島 会津若松市 鶴ヶ城

白虎隊の悲劇で有名な鶴ヶ城。東北地方の要として数々の名将を迎え入れたこの城は、現在福島県を代表する観光のシンボルとなっている。天守閣内部は『お城ミュージアム』として整備され会津の歴史と精神を今に伝えている。企画展示が充実してこの秋=会津の刀匠=(9/24~11/4)は見逃せない。

